

				メリット	デメリット	対象人数 (H27.4)
高齢者	対象者の範囲	年齢	65歳以上	【市民】 ①対象人数が多い。	【市】 ①市の経費負担が大きくなる可能性がある。	約53,000人 (市内)
			70歳以上	【市民】 ①シルバーパスと同じ要件なのはわかりやすい。	【市民】 ①対象外となる方から不満が出る可能性がある。	約38,000人 (市内)
			75歳以上	【市】 ①減収となる対象者が少ない。	【市民・市】 ①対象者が少なく、負担の軽減効果が薄い。	約25,000人 (市内)
		住所	市内	【市・市民】 ①市が経費負担を行う以上、対象者は市民に限定した方が公平性がある。	【市民】 ①市外在住者から不満が出る可能性がある。	
	市外含む		【利用者】 ①市外も含めた利用者にとって恩恵がある。 【市】 ②市外在住者にもちゅうバスを利用してもらえるようPR材料となり得る。	【市・市民】 ①市外在住者は減収による経費増加分を負担しないため、新たな不公平感を生む可能性がある。	把握不可	
	証明方法	既存証明書	シルバーパス	【市民】 ①バス割引証明書として認知度が高い。 ②シルバーパス所有者は手続きが不要。 【運行】 ③乗車時の確認作業が容易。 【市】 ④事務作業量が少ない。	【市民】 ①全員がシルバーパスを所有しているわけではない。 ②路線バスでは無料になるが、ちゅうバスではさらに自己負担が必要というのとは分かりづらい。 ③パス取得に費用がかかる。 ④パスを1000円で取得できる方以外は、ちゅうバス割引分でパス取得費用分を賄うのは現実的に不可能にである。 ⑤自動的に対象者は70歳以上となる。 【市民・市】 ⑥パス取得にかかる費用がちゅうバス運行に還元されない矛盾が生じる。 【市】 ⑦市内在住者のみを対象とすることは不可能。	
			年齢を確認できる証明書	【市民】 ①利用者に特段の手続きが不要。 ②市外居住者等、事前の手続きが難しい方にも対応しやすい。 【市】 ③証明書の種類によっては、住所等の要件を判断可能。 ④事務作業量が少ない。	【運行】 ①証明書の情報から利用者の年齢を計算するため乗務員の負担が増える。 【運行・市民】 ②年齢確認のため乗車扱いに時間がかかり、遅延が生じる等利便性が低下する可能性がある。 ③証明書として有効か疑義が生じる場合に、現場が混乱する可能性がある。 【市民】 ④有効な証明書の種類を限定すると、対象者も限定される。	
		独自証明書	【市民】 ①証明書によっては、最も簡易な方法となる可能性がある。 【運行】 ②乗車時の確認作業が容易。 【市】 ③利用者の利便性、運行への影響、割引対象者の要件設定等を総合的に考慮した、最も合理的な制度設計を行うことが可能。	【市民】 ①証明書の取得に手続きが必要となる。 【市】 ②発行する証明書によっては、発行事務、管理等で膨大な作業量が生じる可能性がある。		
		自己申告	【市民・運行・市】 ①手間が皆無。	【市・市民】 ①完全に申告者への信用のもとに実施するため、虚偽の申告等の可能性は排除できない。		

				メリット	デメリット	対象人数 (H27.4)	
障がい者	対象者の範囲	障がいの種類・等級	区別あり	【市・市民】 ①交通弱者とみなされ、市の負担により割引くべきかどうかは、厳密には障がいの種類、等級により異なり得る。	【市・市民】 ①障がい者の中で区別をすることへの抵抗感や、不公平との不満が出る可能性がある。 【運行】 ②乗車時に対象者が確認する必要がある。	身体 約7,300人 精神 約1,860人 知的 約1,830人	
			区別なし	【市・市民】 ①障がい者を区別しないという観点から、公平感がある。 【運行】 ②乗車時の確認が容易である。	【市・市民】 ①厳密には、外出に支障のない方に市の負担による割引を行うのは、新たな不公平感を生む可能性がある。	約10,800人	
		住所	市内	《高齢者でのメリットと同様》		《高齢者でのデメリットと同様》	
	市外含む		《高齢者でのメリットと同様》		《高齢者でのデメリットと同様》		
	証明方法	障がい者であることを示す手帳		【市民】 ①利用者の手続が不要。 【市・運行】 ②利用時点で対象者であることが明確に確認できる。	【市民】 ①利用時に手帳を携帯してもらう必要がある。 【運行】 ②等級等を要件に加える場合、確認に若干の手間がかかる。	把握不可	
		独自証明書		《高齢者でのメリットと同様》			
		自己申告		《高齢者でのメリットと同様》			
	子ども	対象者の範囲	学年	小学生	【市・市民】 ①別の基準を設定する根拠は乏しい。		約14,000人
			住所	市内	《高齢者でのメリットと同様》		
		市外含む		《高齢者でのデメリットと同様》			
証明方法		年齢を確認できる証明書		《高齢者でのメリットと同様》		《高齢者でのデメリットと同様》	
		独自証明書		《高齢者でのメリットと同様》		《障がい者でのデメリットと同様》	
	自己申告		《高齢者でのメリットと同様》		《高齢者でのデメリットと同様》		
他事例・その他	<p>○高齢者については、多摩地域のコミュニティバスではシルバーパスを要件としている事例が多い（財源は問わず）。</p> <p>○高齢者へ自治体が独自証明書を発行する事例は、多摩地域でのコミュニティバスでは見受けられない（割引回数券の発行等はある）が、他県では散見される。</p> <p>○障がい者については、障がいの種類、等級等を問わず手帳の提示による割引の事例が多い。</p> <p>○対象者ごとに、証明方法等が大きく異なると、混乱を招く恐れがある。</p> <p>○複数の要件に該当する場合の取扱をどうするか。</p>						